

1 平成30年度研修の成果と課題について

平成29年度の「やまなし教員等育成指標」の策定を受け、総合教育センターでは、平成30年度の研修について、研修体系を整え、研修内容も大きく変えることとなった。

(1) 主な変更点

- ① カリキュラム内容の変更
 - 「やまなし教員等育成指標」の項目に基づき研修を整理したこと。
 - 対象となるキャリアステージを明示して研修内容を焦点化したこと。
- ② 実施形態の変更
 - 必修研修を減らし、希望研修を充実させたこと。
 - 半日単位の研修を増やしたこと。
 - やまなしeラーニング（Y e L）コンテンツを充実させたこと。
- ③ 講義内容の充実
 - 全国レベルの講師を多数招聘したこと。
 - 新学習指導要領実施を踏まえた内容としたこと。

(2) 成果

- ① 研修内容を焦点化するとともに、やまなし教員等育成指標が周知徹底したため、定員充足率（定員に対する受講者数の割合）が向上したこと。
75.1% (H29) → 84.8% (H30)
- ② 延べ受講者数が増加したこと。
12,452人 (H29) → 13,285人 (H30)
- ③ 受講者の満足度が高かったこと（受講者アンケートの結果から）。
 - ・「役に立つ内容であった」との回答者の割合が向上した。
91.3% (H29) → 92.0% (H30)
 - ・「様々な視点で学校運営が行われていることに気づかされ、今後の自分の働き方の意識に大きな影響を与えてくれたような気がします」（リーダー研修会受講者）
 - ・「学校を空けるのが半日なので研修に出やすかった」
 - ・「講師の先生が直接その災害対策に関わっていらっしゃる、現場にいるような緊迫感あふれる時間だった」（防災教育研修会受講者）
 - ・「資料及び講師の説明が充実していてとても良い研修でした」（リーダー研修会受講者）
- ④ 活用状況アンケートにおいて、受講した研修会を活用したと答えた者の割合が向上したこと。
92.6% (H29) → 93.6% (H30)

(3) 課題

- ① 「やまなし教員等育成指標」の項目に基づき研修を更に整理していくとともに、キャリアステージに応じた研修体系に即した研修の完成を目指すこと。
 - ・「教職としての素養」に関する研修を設ける必要がある。
 - ・今年度始めた「リーダー研修」の検証を行い、より良いものとする。
- ② 教員の多忙化改善とのバランスを取りながら、研修計画を立案すること。
 - ・「初任者研修」については、日数を2日間減じたが、更に弾力的運用を検討する。
 - ・今年度始めた「中堅教諭等資質向上研修」については、更なる充実を図る。
- ③ 研修内容を充実するとともに、周知を図り、受講者の更なる増加を目指すこと。
- ④ 「研修のセンターへの一元化」については、今後も検討を進めていく必要がある。